

CFP[®] 事例演習と重点ポイント 【ライフプランニング・リタイアメントプランニング】 ページ差替のお願い

この度はCFP[®] 受験対策教材「CFP[®] 重点ポイントと事例演習ーライフプランニング・リタイアメントプランニングー」をご活用いただき誠にありがとうございます。

下記の通り修正箇所を確認の上ご利用くださいますようお願い申し上げます。宜しくお願い申し上げます。

F P K 研修センター株式会社 本部事務局

記

該当 p	問題番号等	修正内容
50 ・ 51	(問題20) 問題および 解説差替え	※ 2025年4月以降、教育一般貸付の最長返済期間が18年から20年に 改正されたため、該当ページを別紙に差替えをお願い致します。

以 上

● ページ差替（50ページ、51ページ）

（問題20） 設問E 教育一般貸付2（毎月返済額等の計算）

会社員の別所陽太郎さんは、長女の大学進学の際の費用の一部として日本政策金融公庫の「教育一般貸付」を利用する予定である。別所さんが以下の＜条件＞に基づいて教育一般貸付を利用した場合に関する次の記述の空欄（ア）～（ウ）にあてはまる語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。なお、別所さんは、妻と長女の3大家族でW市に居住している。また、計算に当たっては、下記の＜返済の目安＞および＜公益財団法人教育資金融資保証基金（以下「保証基金」という）による保証料の目安＞を乗算で使用するものとし、空欄（ウ）の計算に当たっては、円未満の端数を切り捨てること。

＜条件＞

- ・ 借入額は350万円とする。
- ・ 別所さんの年収は650万円で、妻は無収入（専業主婦）である。
- ・ 在学中の「利息のみの返済（元金据置）」および「ボーナス月増額返済」は利用しない。
- ・ 基準金利は年2.85%（固定金利）とする。
- ・ 保証基金による保証を利用する。
- ・ 保証料は、借入額、返済期間に応じた金額が、融資金から一括して差し引かれる。

＜返済の目安＞（借入額100万円当たりの額）

返済期間	毎月の返済額（金利：年2.85%）
10年	9,700円
15年	6,900円
18年	6,000円
20年	5,500円

＜保証基金による保証料の目安＞（借入額100万円当たりの額）

返済期間	保証料
10年	67,467円
15年	101,713円
18年	122,598円
20年	136,660円

別所さんが本設問の＜条件＞に基づき教育資金一般貸付を利用する場合、借入金の返済期間は最長で（ア）となり、毎月返済額は（イ）、保証料総額は（ウ）となる。

- | | (ア) | (イ) | (ウ) |
|----|-----|---------|----------|
| 1. | 18年 | 21,000円 | 429,093円 |
| 2. | 20年 | 21,000円 | 478,310円 |
| 3. | 18年 | 19,250円 | 429,093円 |
| 4. | 20年 | 19,250円 | 478,310円 |

解答欄

解 説

◇ポイント

教育一般貸付の返済期間は、利用者の個別事情に関係なく最長で20年である。

◇手 順

(ア) 教育一般貸付の返済期間は最長20年となる。

(イ) 毎月返済額

<返済の目安>より、 $5,500円 \times 350万円 / 100万円 = \underline{19,250円}$

(ウ) 保証料総額

<保証基金による保証料の目安>より、 $136,660円 \times 350万円 / 100万円 = \underline{478,310円}$

◇正 解 設問E-4

4. 正しい。 (ア) 20年 (イ) 19,250円 (ウ) 478,310円